

登別市立地適正化計画及び登別市地域公共交通計画に関する住民説明会 開催結果

1. 開催日時・場所・参加状況

開催日・場所	時間	参加人数
令和3年11月29日（月） 鷺別公民館 2階ホール	（1回目）15：00～16：00	13人
	（2回目）18：00～19：00	3人
令和3年12月 1日（水） 登別市婦人センター 2階講堂	（1回目）15：00～16：00	13人
	（2回目）18：00～19：00	3人
令和3年12月 3日（金） 登別市民会館 2階中ホール	（1回目）15：00～16：00	23人
	（2回目）18：00～19：00	10人
合計		65人

2. 配付資料

- ・次第
- ・登別市立地適正化計画（案）スライド説明資料
- ・登別市地域公共交通計画（案）概要版

3. 参加者意見・質問

○令和3年11月29日（月）鷺別公民館 2階ホール

No.	質問等	市の回答
1	今説明を受けたこの計画内容は、これで決定なのでしょうか。また、この資料は市のHP等で見られますか。	<p>本計画につきましては、12月～1月にパブリックコメントを実施する予定となっております。そこで変更が必要となるほどの意見がなければこの計画内容でほぼ決定となり、令和4年3月末に策定・公表となります。</p> <p>また本日の資料については、開催結果と合わせて市ウェブサイトに掲載するほか、計画案はパブリックコメントにおいて掲載する予定です。</p>
2	居住誘導区域・都市機能誘導区域を設定することで効果はあるのか。	<p>今後も人口減少が進む中で何もしないと、空き家が増加したり、商店が撤退したり、バス等の公共交通が衰退していくといった悪循環が想定されます。そうした状況下でも、居住を集約して人口密度を高め、その中心に医療、商業、福祉などの機能も集約することでそれらを維持したい、というのが本計画の考え方です。</p> <p>居住を誘導することについては、3戸未満の住宅は届出の対象ではなく、また皆様に強制的</p>

		に居住誘導区域内に住んでいただくということではありません。本計画ではあくまで長い時間をかけて緩やかに誘導していきたい、なるべく生活利便性が高い区域内に住んでいただきたいと考えております。
3	<p>バスの時刻表だが、高齢者やバスに不慣れな人が理解するのは難しい。</p> <p>自分たちの町内会では独自に時刻表を作成して配布している。</p>	<p>「バスの乗り方教室」を開催し、時刻表の見方を説明できればと考えております。</p> <p>また、道南バスで今年7月から運用を開始したバスロケーションシステムの活用もあわせて周知したいと考えております</p>

○令和3年12月 1日（水）登別市婦人センター 2階講堂

No.	質問等	市の回答
1	<p>登別中学校が幌別中学校の方に合併するという話を聞きました。登別地域は現存する施設や大きさ、津波の浸水深など非常に有利な地域ではないかと思いますが、都市計画の観点から中学校の合併はどのように考えているのか聞きたい。</p> <p>コンパクトシティを推進する中で、教育環境についてももしっかり考えてもらいたい。</p>	<p>登別地域は医療や商業などといった都市機能が高密度に立地しており、この地域だけですでにコンパクトシティとして成り立っているという見方もできます。しかし、都市機能の密度の維持という目的からすると、地域における学校経営と都市計画とは見方が違う部分がございます。</p> <p>本計画の策定にあたり、庁内関係部局と連携しておりますので、担当部局にご意見を伝えたいと思います。</p>
2	<p>現状のまちがこれだけ広がった中で、コンパクトシティにすることで無駄な投資をなくし、居住環境に必要なものが揃った住みよいまちづくりが一つの目標だと思います。これから空き家や遊休地などが増えていく中で、交通体系や公園の配置、施設の配置などに十分配慮し、住民意見を聞きながら今後のまちづくりを進めていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>当時は人口増加にあったため土地区画整理事業などでまちが大きくなっていきましたが、昭和58年頃から人口減少に変わり、今後も人口減少が予測される中で本計画を立てております。今後の施策については、設定した区域内にうまく誘導されるよう検討したいと思います。</p>
3	<p>現在ある道営住宅や市営住宅の配置は人口割や面積割で戸数が決まっているのでしょうか。</p>	<p>地域のバランスとして、幌別地域に市営住宅が一番多く存在しており、鷺別地域は現状少ないということになってはいますが、市営住宅については登別市営住宅等長寿命化計画を立てて、その中で事業を進めております。これら個別の計画と連携しながら立地適正化計画や登別市都市計画マスタープランを作成しているところです。</p>
4	<p>例えば施策の一つとして、子育て世代が住</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p>

	<p>宅を建てる場合に支援して、もっと積極的に若い人たちに住宅を建てていただけるようにするなど、人口を増やして高齢化を食い止めるといった具体的な施策をしていただきたいと思います。</p>	<p>人口減少対策については、登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、現在事業を進めているところです。</p> <p>ご提案されたような個別具体の施策については、担当部局にご意見を伝えたいと思います。</p>
5	<p>人口減少の対策について、何をどうやっているのかがみえない。温泉に施設を設けて移住・定住の取組をされていますが、それ以外は何をされているのか。</p> <p>また、働く場所があまりないため若い人が都会に出ていっている。働く場所をもっと多くするための対策がみえてこないのを確認したい。</p>	<p>人口減少対策については、上位計画にあたる登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、人口減少をなるべく抑えるという考え方のもと施策を進めております。また、本計画では、地域内の人口密度を維持するために居住地の面積を時間をかけて小さくしていく、その中の既存の商店や銀行などの施設が撤退しないで済むようにするという考え方です。</p> <p>このように、様々な計画や施策が重なり合うことで、人口減少や高齢化対策に結びつくのではないかと考えております。</p>
6	<p>空き家を更地にしていけば活用が図られると思うのですが、例えば、居住を誘導するための施策として、更地にしたら税金が安くなるといったことを市として出来ないか。</p>	<p>空き家につきましては、例えば除却に対する補助などは今後検討したいと考えています。</p> <p>また、固定資産税の面からいいますと、住居が建つことで通常の税額より軽減を受けられるというメリットがあり、解体して更地にすると税金が高くなるということもあるため、多少は空き家の放置に繋がっていると思いますが、国もそれを踏まえて軽減制度の見直しを検討しており、動向を注視しているところです。</p>

○令和3年12月 3日（金）登別市民会館 2階中ホール

No.	質問等	市の回答
1	<p>都市計画マスタープランとの連携・整合はどうなっているのか。</p>	<p>登別市都市計画マスタープランは、登別市におけるまちづくりの基本的な方針について示しており、その中でも土地利用や交通体系、公共施設等の配置、住環境の整備、都市防災といった方針について、本計画と整合を図っています。</p>
2	<p>人口減少と高齢化率がベースとなり、登別市としてコンパクトなまちづくりを目指すということは分かる。令和27年度まで人口が減少し、高齢化率が上がっているが、いつかの時点で高齢者の人口が減少すれば、高齢化率も下がる時が来るのではないか。</p>	<p>本計画の計画期間を20年としており、令和22年度までの将来人口推計を参考としています。また、立地適正化計画はおおむね5年を目途に計画の検証を行うこととしており、その時点での人口の推移や人口減少の状況をみながら、必要に応じて計画の見直しを行います。</p>

	<p>一方で、人口減少のストップや人口増加に向けた施策も登別市として掲げていると思うが、そちらの施策や考え方との関連はどうなっているのか。</p>	<p>人口減少の抑制や人口増加に向けた施策は、登別市ひと・まち・しごと創生総合戦略の中で検討しており、そちらは上位計画として立地適正化計画を策定する際に整合を図っています。</p>
3	<p>資料15ページの誘導施策の部分に災害に関する施策が記載されている。災害リスクに備えた安全・安心な住居の確保とあるが、幌別は標高が5～6mしかないことも考えながら都市機能誘導区域、居住誘導区域を考えてもらいたい。</p>	<p>本計画では、地域防災計画と整合を図り防災指針を作成しており、基本的に災害リスクの高い箇所は都市機能誘導区域、居住誘導区域から除外していますが、津波災害警戒区域については市街地のほぼ全域を覆っており、そのすべてを都市機能誘導区域、居住誘導区域から除外するのは現実的ではないことから、避難訓練などのソフト対策も合わせて行っていくことを考えています。</p>
4	<p>立地適正化計画の策定に係る協議会等が開かれていると思うが、登別市のウェブページをみると2回しか実施していない。どちらも登別市全体に関わることなので、小規模でもいいので、もっと市民の声を聴くという姿勢を持ってもらいたい。パブリックコメントも実施するとのことだが、なかなか意見を書いて提出することは難しいと思う。</p>	<p>ウェブページが未更新の状態となっていたが、実際は4回開催しております。その他にも市職員で構成される庁内検討委員会や、公募や市民団体推薦による市民で構成される登別市都市計画マスタープランの市民会議でもご意見をいただき、本計画を作成しております。</p>
5	<p>都市機能誘導区域や居住誘導区域の設定によって、地価が変動するのではないかな。</p>	<p>登別市では長い時間をかけて緩やかに集約したいという考えのもと設定しており、強制的に誘導するものではありませんので、大きな地価変動はないと考えています。</p>
6	<p>幌別駅周辺を誘導区域としているが、津波災害警戒区域に指定されている。ここから避難する場合、健康な人ならいいが、高齢者はどうするのか。津波についても調整しなければ、ここに住んでくれということは難しいのではないかな。東北では地盤をかき上げたり、道路を防波堤としている。</p>	<p>津波では市街地のほとんどが浸水することから、津波災害警戒区域を除外し、それ以外のエリアを居住誘導区域に設定することは現実的ではないため、防災担当の方で津波避難計画の策定や避難訓練などのソフト対策を考えています。その他、高台避難場所についても検討すると聞いています。</p>
7	<p>防災担当からは一次避難場所を検討していると聞いている。他の自治体では市街地そのものを別の場所に作るということもやっている。長いスパンでの市街地の作り方は検討したのか。</p>	<p>違う場所への市街地移転を全く検討してはいませんが、既成市街地がある中で大きく動かすことは現実的ではないと判断しました。津波避難を考慮して、基本的に線路を渡らず避難できるエリア（線路より内陸側）ということで誘導区域を選定しています。</p>
8	<p>市で実施した公共交通アンケートの説明がないのはなぜか。市公式ウェブサイトに掲載するだけでなく、説明も必要ではない</p>	<p>今後の実施する説明会等では、説明に加えることを検討したいと思います。</p>

	か。	
9	スマートフォンを活用したシステムの導入など、新たな取り組みを進めてほしい。	貴重なご意見として伺います。
10	都市間バスの幌別地区経路変更は利用者目線の対応ではない。変更となった経緯は聞いているが、元に戻らないものか。	市には経路変更を止める権限がないことをご理解ください。道南バスと中央バスにはご要望があったことを伝えたいと思います。
11	空白地域の対策を検討すると言いつつ、都市間バスの経路変更を行い、多くの市民の利便性を損なわせるなど、やっていることがあべこべではないか。	空白地域への対応と幌別地区の都市間バス経路変更は別の話となりますが、空白地域に新たに路線バスを運行させることは厳しいと考えますので、市がコミュニティバスを運行するなど、別の手段で検討することとなります。